



# 瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部  
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



四旬節第1主日 A年(2026年2月22日)

## 洗礼志願者といっしょに四旬節を過ごしましょう

主任司祭 小西広志神父

人が神さまからのうながしを感じて、神さまの子にさせていただく<sup>けっしん</sup>決心をして、そして、洗礼の<sup>ひせき</sup>秘跡を受ける<sup>かてい</sup>過程はそれぞれです。神さまは、その人に一番かなった<sup>しかた</sup>仕方<sup>みちび</sup>で導いてくれます。ですから、人それぞれに「救いの歴史」があります。

そして、「洗礼を受けたい」あるいは「洗礼を受けさせていただきたい」という<sup>おも</sup>想いを<sup>つ</sup>つの<sup>ら</sup>らせたところから、洗礼の秘跡へと<sup>いた</sup>至る具体的な道のりが始まります。

今年の復活祭ではお一人の方が洗礼の秘跡を受けられます。その方とご<sup>いっしょ</sup>一緒にわたしたちも四旬節の<sup>あゆ</sup>歩みを進めてまいりましょう。また、<sup>くあい</sup>ちょうど<sup>まい</sup>まい<sup>し</sup>具合に今年<sup>は</sup>は主日の聖書朗読がA年です。四旬節の間は洗礼志願者を意識した<sup>し</sup>典礼となります。

### 【二つのイメージ】

成人のための入信の秘跡は、教会共同体の中で<sup>だんかいてき</sup>段階的に進められるのが理想です。一歩ずつ<sup>かい</sup>階段を上<sup>だん</sup>がっていくように洗礼志願者は「<sup>さいだん</sup>主の祭壇」へと近づいていきます。あるいは別のイメージを使うとすれば、一歩ずつ<sup>ふか</sup>階段を下<sup>ふか</sup>下<sup>ふか</sup>っていくながら、その人の<sup>ふか</sup>こころの深いところにおられる主イエス・キリストに出会っていくのです。

階段を上るイメージは、光へと向かう道です。天の<sup>おんちち</sup>御父は光のみなもと、<sup>おんこ</sup>御子イエスさまは「光からの光」(ニケア・コンスタンチノポリス<sup>しんじょう</sup>信条より)だからです。洗礼志願者は<sup>せいれい</sup>聖霊に導かれながら、一歩ずつ光へと近づいていくのです。

階段を下るイメージは、自分自身に出会う<sup>くらやみ</sup>暗闇の道です。罪、弱さ、<sup>つみ</sup>惨めさ、<sup>みじ</sup>至らなさといったわたしたちの<sup>ちそう</sup>こころにまるで地層のように横たわっている数々のものを認めながら、一歩ずつ<sup>みど</sup>階段を下<sup>みど</sup>下<sup>みど</sup>っていきます。人の<sup>ざ</sup>こころの深いところには「<sup>ざ</sup>神の座」があります。そこへと向かう歩みです。<sup>こわ</sup>怖い、<sup>おそ</sup>恐ろしい、<sup>ふあん</sup>不安、ふさわしくないなどのいろいろな<sup>こ</sup>気持ちがよぎります。それでも暗闇の<sup>そこ</sup>底

に小さく<sup>かがや</sup>輝く光へと向かうのです。下りていくときに足もとを<sup>て</sup>照らしてくださるのは聖霊の炎です。

この二つのイメージが二重らせん状に<sup>こうさ</sup>交差しながら、洗礼志願者は入信の秘跡への道を実際に<sup>じっさい</sup>歩むのです。

### 【三つの段階】

教会は成人のための入信について、三つの段階を設定しています。

第一段階：キリストに<sup>したが</sup>従う意志を<sup>ひょうめい</sup>表明し、教会でいっそう深くキリストの教えを<sup>じき</sup>学ぶ時期。

第二段階：洗礼を受ける決心をし、直接その準備に入る時期。

第三段階：入信の秘跡である、<sup>けんしん</sup>洗礼・堅信・聖体を実際に受ける時。

多くの洗礼志願者の方々は第一段階で十分に時間をかけています。主日のミサに参加して、<sup>きょうり</sup>教理担当者から神さまのお話、イエスさまのお話、教会のことを教えてもらいます。

四旬節は第二段階となるでしょう。<sup>きよ</sup>清めと<sup>て</sup>照らしを願って、洗礼志願者のための典礼がなされます。

今日、四旬節第一主日では、第一段階にあたる「入門式」と第二段階にあたる「洗礼志願式」を<sup>いっしょ</sup>一緒におこないます。

### 【入門式】

入門式では意志の<sup>かくにん</sup>確認がなされます。

司：○○○○さん、あなたは教会に何を求めますか。

答：信仰を求めます。

司：信仰によって何が与えられますか。

答：永遠のいのちが与えられます。

そして、十字架のしるしが<sup>ひたい</sup>額につけられます。

### 【洗礼志願式】

ここでも意志の確認がなされます。

司：あなたは入信の秘跡、洗礼・堅信・聖体を受けることを<sup>のぞ</sup>こころから望みますか。

答：はい、望みます。

そして、信条が<sup>じゅよ</sup>授与されて、<sup>かいほう</sup>解放を求める祈りと<sup>とゆ</sup>塗油がおこなわれます。